

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【評価委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価対象期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	良
2	利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	可
3	施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4	情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	良
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6	地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	良

【所管課の総合評価】

平成30年度上半期は、施設利用者の要望等にあわせて、集会室の机を新調するなど、利用者の利便性の向上に取り組む姿勢が見られた。設備等が老朽化してきている中、施設の維持管理をするうえで必要な日常的な施設内外の点検業務や清掃業務を実施した他、利用者が快適に施設を利用できることや安全の確保に努めている。本年度は建物の定期報告調査の実施年度であったため、建物や設備について課題を指摘されたが、軽微なものについては速やかに改善できている。

また、会員のすべてが女性ということもあり、利用者への対応も柔かい。夏季の猛暑や設備の老朽化など厳しい状況の下で、経費を削れる部分は削り、削れない部分も低く抑えるなど、節約意識が高いため施設運営の経費削減に効果をあげているといえる。

社会奉仕団体の特性を活かし、地域のコミュニティの場を設け、地域の絆を強めることに貢献している。このようなことから、施設管理の責務が十分に果たされていると評価することができる。

【委員会の意見】

令和元年7月1日開催 令和元年度第1回岐南町指定管理者評価委員会での総評

協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされていると認められ、所管課の評価を基本的に承認する。他の町民センターと比較しても経費削減がなされていることが認められる。また、施設の維持管理、花壇の整備など、利用者が気持ちよく利用できるような環境を整えている。さらに自主事業に関しても、社会福祉協議会の協力のもと進めているサロン事業によく示されているように、地域に根ざして積極的な運営を図ろうとする姿勢は高く評価できる。利用者とりわけ高齢者や障がい者が利用しやすいように手すりを階段の両側に設置するなど修繕を進めること、さらには段差をなくすこと（バリアフリー化）の検討をお願いしたい。